


平成24年度  
乳用種初生牛の経営に関する調査報告書  
【要約版】

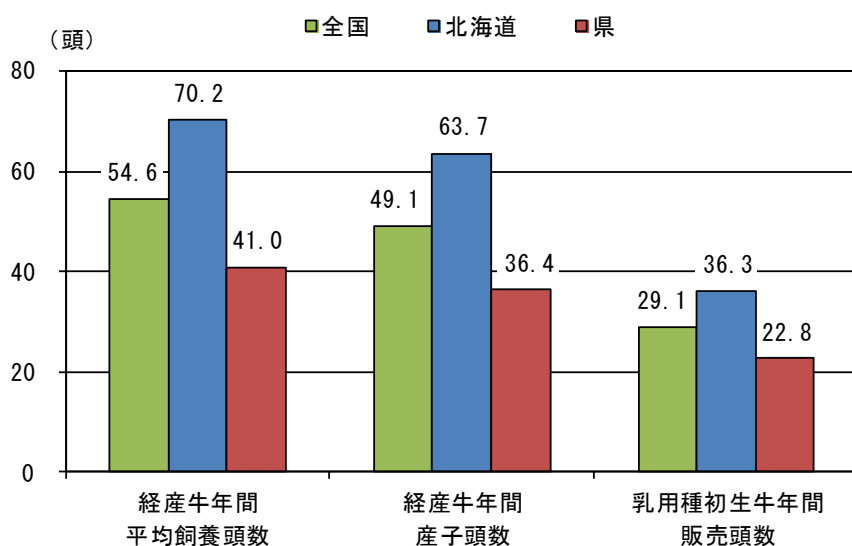
平成25年2月  
 独立行政法人農畜産業振興機構

## 1 経営概況

調査対象農家（161 経営体）の経営概況は、全国平均では、経産牛年間平均飼養頭数 54.6 頭、年間産子頭数 49.1 頭、乳用種初生牛年間販売頭数 29.1 頭であった。

地域別にみると、総じて北海道（75 経営体）の方が県（86 経営体）に比べて大きく、経産牛年間平均飼養頭数では 71.2 ポイント、年間産子頭数では 75.0 ポイント、乳用種初生牛年間販売頭数では 59.2 ポイント高くなっている。しかしながら、年間産子頭数に占める乳用種初生牛年間販売頭数の割合は、北海道の 57.0% に対して、県では 62.6% と県が北海道より 5.6 ポイント高くなっている。

図 経営概況



乳用種初生牛の平均販売日齢は全国平均では 20.7 日齢であり、北海道の 10.2 日齢に対して県では 29.9 日齢と県が北海道より 19.7 日齢長くなっている。

乳用種初生牛 1 頭当たりの全国の平均販売価格は、市場販売価格が雄 3 万 1,957 円、雌 9 万 9,571 円となっている。一方、相対取引価格は雄 2 万 1,054 円、雌 10 万 5,167 円となっている。

表 乳用種初生牛の平均販売日齢と平均販売価格

(頭、円)

	平均販売日齢(日齢)	市場出荷				相対取引			
		雄		雌		雄		雌	
		頭数	価格	頭数	価格	頭数	価格	頭数	価格
全国	20.7	18.8	31,957	4.1	99,571	10.4	21,054	1.2	105,167
北海道	10.2	25.4	33,448	4.7	123,893	10.3	22,807	—	—
県	29.9	11.6	30,329	2.6	37,029	10.4	20,587	1.2	105,167

## 2 乳用種初生牛 1 頭当たり生産費

乳用種初生牛 1 頭当たりの全国生産費は 1 万 1,927 円となっており、そのうち 87.4% が労働費 (66.3%) と飼料費 (21.1%) であった。地域別、経産牛年間平均飼養頭数規模別に概観すると、以下のとおりである。

### (1) 地域別

北海道の 9,782 円に対して、県では 1 万 3,797 円と県が北海道より 4 割以上高くなっている。また、生産費の太宗を占める労働費と飼料費の合計比率は、北海道で 89.0%、県で 86.4% と北海道が県より 2.6 ポイント高い結果となっている。

図 生産費 (地域別)

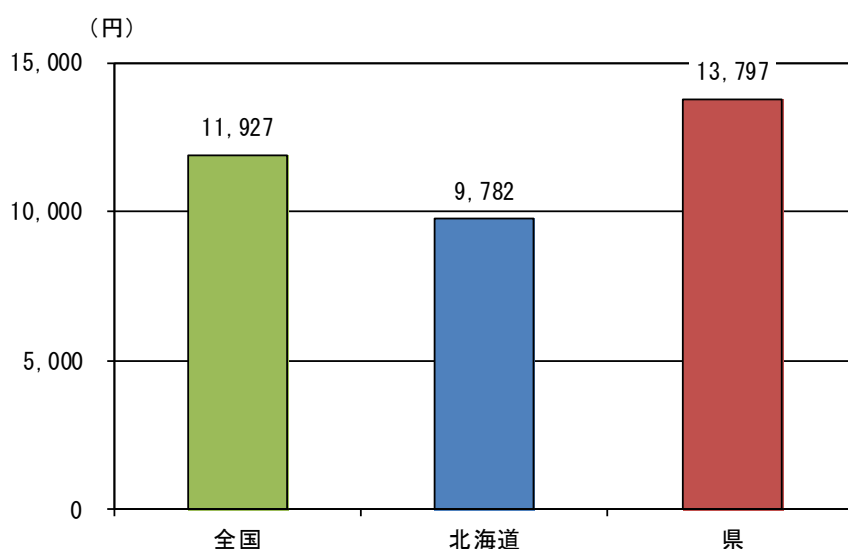


表 生産費（地域別）

(円)

	労働費	飼料費	敷料費	衛生・ 医薬品費	水道・ 光熱費	燃料費	その他 資材費	ハッチ費	生産費
全国	7,904 (66.3%)	2,517 (21.1%)	413 (3.5%)	546 (4.6%)	187 (1.6%)	111 (0.9%)	248 (2.1%)	42 (0.4%)	11,927 (100%)
北海道	6,393 (65.4%)	2,306 (23.6%)	286 (2.9%)	406 (4.1%)	98 (1.0%)	132 (1.4%)	160 (1.6%)	63 (0.6%)	9,782 (100%)
県	9,221 (66.8%)	2,702 (19.6%)	524 (3.8%)	669 (4.8%)	264 (1.9%)	92 (0.7%)	325 (2.4%)	23 (0.2%)	13,797 (100%)

(2) 経産牛飼養頭数規模別

北海道では 80～99 頭規模までは低下し、29 頭以下の規模で最も高くなっている。一方、県は 30～49 頭規模までは低下し、それ以上では規模が大きくなるにつれて高くなっている。

図 生産費（経産牛飼養頭数規模別）

